

ゼンターリ[®]顆粒水和剤

■種類名：B T水和剤

■有効成分：バチルス チューリンゲンシス菌の生芽胞及び産生結晶毒素

-----10.0%
[力価として-----1,000 B.m.z単位/mg]

■登録番号：第19616号（住友化学登録）

■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

■登録初年：1997.03.27

■性状：淡褐色水和性細粒及び微粒

■有効年限：5年

■包装：100g×100袋、500g×20袋

【特長】

- 微生物を使用した農薬（アイザワイ系統のB T剤）であり、コナガ、アオムシのみならず、従来のB T剤では活性の低かったヨトウムシに対しても高い効果を発揮する。効果持続性に優れる。
- 有機農産物のJ A S規格で使用が認められている。
- 薬液調製の際に粉立ちが少ない顆粒水和剤である。

【適用内容】（2024年11月末日現在）

作物名	適用害虫名	希釈 倍数 (倍)	使用 液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	BTを含む 農薬の 総使用回数
あわ ひえ	アワノメイガ	2000	100~300 ㍓/10a	発生初期 但し、収穫前日まで	—	散布	—
えごま(種子)	ベニフキノメイガ	1000					
はくさい	アオムシ	2000					
からしな(種子)	コナガ ヨトウムシ	1000~ 2000					
野菜類 (キャベツ、 はくさいを除く)	オオタバコガ シロイチモジヨトウ ハスモンヨトウ	1000					
トマト ミニトマト	トマトキバガ	1000					
キャベツ	アオムシ コナガ ヨトウムシ	1000~ 2000					
	オオタバコガ シロイチモジヨトウ ネギアザミウマ ハスモンヨトウ	1000					
べぼうぼちや (種子)	ヨトウムシ						
うり科野菜類	ウリノメイガ						
パセリ	キアゲハ						
いも類 豆類(種実)	ハスモンヨトウ						
えんどうまめ さやえんどう 実えんどう	ウリノメイガ						
ふじまめ	シロイチモジマダラメイガ						
しょくようほおずき	タバコガ						
果樹類	ハマキムシ類		200~700 ㍓/10a				
そば	ハスモンヨトウ		2000	100~300 ㍓/10a			
茶	チャノコカクモンハマキ チャハマキ ヨモギエダシャク	1000	200~400 ㍓/10a	発生初期 但し、摘採7日前 まで			
とうもろこし	オオタバコガ		100~300 ㍓/10a	発生初期 但し、収穫前日まで			
きく	ハスモンヨトウ			発生初期			
ストック	コナガ						
カーネーション	ハスモンヨトウ						

作物名	適用害虫名	希釈 倍数 (倍)	使用 液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	BTを含む 農薬の 総使用回数
樹木類	ケムシ類	1000	200~700 ㍓/10a	発生初期	-	散布	-
芝	スジキリヨトウ	1000~	300 ml/m ²				
	シバツトガ タマナヤガ	2000 1000					
しいたけ	シタケオオヒロズコガ	200	種菌1シート (30×25cm) 当り 20 ml	種菌接種前	-	形成種菌の ふたに塗布	-
		1000	100~300 ㍓/10a	害虫発生初期 但し、しいたけ発生 の14日前まで		散布	

【効果・薬害等の注意】

- 本剤の所定量に所定量の水を加え、十分かきまぜて散布液を調製すること。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布すること。
- 使用に当たっては展着剤を加用することが望ましい。
- 石灰硫黄合剤、ポルドー液などの農薬及びアルカリ性の強い葉面散布施用の肥料などとの混用はさけること。
- 本剤は若齢幼虫に有効なので、若齢幼虫期に時期を失わずに散布すること。
- マメコバチの活動に影響を及ぼすおそれがあるので注意すること。
- 蚕に対する毒性があるので、養蚕主要県その他主要養蚕地帯及び養蚕農家、共同飼育場などの周辺では施用しないこと。また、これら以外の場所でも付近に桑園がある場合は飛散してかからないよう風向等に十分注意して散布すること。なお、本剤の使用に当たっては散布地域の使用制限に従うこと。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ◆ ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
 - ◆ 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけること。
 - ◆ 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- はくさいに対しては薬害を生じるおそれがあるので、所定の希釈濃度を厳守すること。
- カーネーションに使用する際は、薬液の付着により葉のワックス層が溶脱する場合があるので、収穫間際の散布はさけること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関連機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- ❖ 使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
- ❖ 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- ❖ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- ❖ 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。